

第 7 回 和地小学校・堀切小学校・伊良湖小学校統合準備委員会 会議録

日時	平成 26 年 6 月 25 日（水）19 時 00 分～20 時 33 分
場所	和地市民館
出席者	委員（24 名） 小久保昌彦、高瀬 勲、小久保忠廣、荒木和人、間瀬康広、河合一成、小久保善和、杉浦幹弥、糟谷芳伸、小久保正之、田中正規、太田聖子、間瀬和幸、島津 修、林 晶子、小久保昌英、小久保久美子、尾澤明敏、大倉恭子、鶴飼亜由子、石橋梨恵、藤城信幸、河合正人、横田 威 事務局（8 名） 教育長、前田教育部長、中村教育総務課長、三竹教育企画室長、山本学校教育課長、鈴木文化生涯学習課長、富田政策推進課長、清水教育企画室主任
欠席者	河合俊英委員、丸井良徳委員
傍聴者	なし
事務局	開会
委員長	（委員長あいさつ） 本日は、教育長に出席いただいておりますので、あいさつをお願いします。
教育長	（教育長あいさつ）
委員長	それでは、早速協議事項に入ります。 協議事項 1 中学校再編に係る渥美 8 校区からの状況報告及び今後の考え方について、説明をお願いします。
委員	先ほど教育長が言われたように渥美 8 校区で中学校問題が話されてきましたが、新年度になり、校区会長、自治会長も交代されまして、その後、渥美 8 校区で話をしました。内容としては、資料のとおりです。 （資料 1－1 により説明）
事務局	続いて、中学校再編に係る渥美 8 校区での協議の状況報告を受けての今後の考え方について説明します。 （資料 1－2、資料 1－3 により説明）
委員長	統合先案について、①福江中、②赤羽根中、③福江中又は赤羽根中となっているが、どういう意味か。
事務局	3 校区全員でまとまって福江中と意見が出れば福江中、赤羽根中と意見が出れば赤羽根中、もしくは、まとまらなかった場合は、福江中又は赤羽根中ということも考えられるものです。
教育長	少し補足します。子ども達は、これから 1 年、和地で一緒に過ごします。一緒に過ごしたグループで一括して動いた方がいいと思うか、それとも 2 年後に一緒にでなくバラバラでいいとなれば、それを尊重するという事です。まとまって動くこととなれば、①案が福江中、②案が赤羽根中、そういう意味です。
委員長	説明が終わりました。 ご意見・ご質問がございましたらお願いします。

委員	今年の 6 月 10 日に渥美 8 校区からの協議状況報告がされていますが、なぜ 1 年もかかったのですか。
委員	<p>岬 3 校区は小学校統合問題で集まる機会も多かったですが、例えば中山、亀山等の地区では自分たちが統合する意識が少なく、皆に意見を聞く段階になるまでに時間がかかっていたようです。全体的に意見のとりまとめが遅れたということです。</p> <p>最終的に 1 番問題だったのは、当初、泉校区では渥美 8 校区を一つにしていこうという意見だったのですが、アンケート結果をみると、野田中は田原中に統合すると決まっている段階にもかかわらずアンケートに統合先を野田中と書くような状況で意見がまとまらず、結果的に意見がバラバラになったという現状です。</p>
教育長	教育委員会では渥美 8 校区として昨年 12 月までに意見をまとめるという話を聞いていました。しかし、泉校区では 12 月から 1 月にかけてアンケートをする話があり、その後泉校区のアンケートが 1 月、2 月、3 月ぐらいまでかかり、出てきた意見がばらばらでまとめきれない状況になってしまいました。一方で、新年度には渥美校区の校区会長は半分交替してしまったので、そういう状況が遅れた原因と感じています。
委員	昨年 7 月に渥美 8 校区で考えると言われたので、私たちはどうなるのか意見を聞かれるのを待っていたが、そのまま進んでしまいました。伊良湖岬 3 校区は緊急地域で保護者の関心もあり意見を持っているのですが、なかなか渥美校区全体で動いていない状況で、他の保護者に聞いても何もないということでした。
委員	福江の校区会長は、そういうふうにとまとめようとしていたのですが、結果的に他の校区長の意識がなかったと思います。
委員	なぜ、そもそも渥美 8 校区で任せて欲しいとなったのですか。
委員	<p>最初、伊良湖岬 3 校区で協議する際、統合先の中学校問題もアンケートにのせたら、「福江中は低いので赤羽根中がいい」という意見が多かった。そのとき「旧渥美町の泉、福江、伊良湖岬校区は一緒にならないと渥美地域は衰退してしまう」という危機感を持った方がおり、その結果、渥美 8 校区で協議していく要望を出したということです。渥美 8 校区での協議が遅れたことは、本当に申し訳なく思っています。</p> <p>これからは、また前向きに考えを進めていかなければならないので、ほかに何か意見はありますか。</p>
委員	伊良湖岬 3 校区の意見を尊重していくことになったので、他の渥美 5 校区の方も協力してほしい。
委員	ここで協議したことは、当然渥美 8 校区でも議論し同意を求めながら進めていきます。
教育長	資料に、「渥美地域の中学校再編については、引き続き渥美地域校区総代会で検討していきます」とあり、「伊良湖岬中学校の移転時期及び移転先については、伊良湖 3 個校区の意見を尊重し判断していただきたいと考えています」とあるので、渥美 8 校区でも考えていくとのことだと思っています。
委員	伊良湖岬 3 校区で移転先を考えて「赤羽根に行く」となった場合に、自治会は旧渥美町単位で動いている部分もあるので、何か困ることはないですか。また受け入れる側の赤羽根でも困ることはないですか。

	以前、市からの案で和地小が若戸小に行くという案がありましたか。
事務局	まずは昨年 5 月に提案している教育委員会からのたたき台をスタートと考えていただきたいと思います。
委員	自治会はどうなりますか。自治会がどう動くかではなくて、保護者の意見が通っていくのか。赤羽根と渥美は違うよと言われてしまうと困る。
事務局	小学校の校区単位で校区があります。それは、今、検討しているのですが、中学校の場合、直接自治会や校区とは関係ありませんので、その辺の協議は十分にさせていただけると思います。
教育長	教育委員会では田原市全体で中学校 4 校と議会でも説明しています。 基本的な気持ちとしては、他地域から来てくれならと有難いと、そんな感じでした。
委員	例えば、渥美は渥美、赤羽根は赤羽根という地域単位ではなく、大丈夫ですね。
委員	田原市全体で中学校 4 校というのはいつ計画されたのですか。
教育長	昨年 9 月議会で中学校は 4 校と説明しています。また、今年末に田原市の学校配置計画を作成します。そこにはきちんと 4 校と案を示す予定です。
委員	中学校移転先は来年のいつまでに決めるのですか。
教育長	平成 28 年 3 月までです。皆さんから伊良湖岬小で 1 年過ごして決めてはと意見があったと聞き、頭で考えるより一緒に過ごしてみても決めるのは合理的でいい案だなと思いました。
委員	赤羽根中の今後の状況についてお尋ねします。赤羽根中も生徒数が減少すると思うが、10 年後の生徒数は。
教育長	赤羽根地域の児童生徒数はだいたい横ばいですが、渥美地域は少なくなっています。
委員	田原市全体として中学校 4 校という構想があるなら、伊良湖岬中が赤羽根中に行った方が安定して生徒数を確保できると思うが、どうですか。
教育長	現在、福江中の 3 年生は 121 人、今年のゼロ歳児は 74 人で半分程度に減ります。 赤羽根は 40 人から 50 人ぐらいで推移しますが、大きいはずの福江でゼロ歳児は 74 人、泉は 16 人、伊良湖岬は 21 人、3 校区を合計しても 111 人、そういう状況です。 これは 15 年、20 年位で考えている話です。渥美地域の児童生徒数の減少の仕方は急激です。50 年後はと言われてもわからない。だから、50 年後を考えて学校をつくらないということはしない。生まれてくる子どもを対象に 15 年から 20 年ぐらいの渥美半島の姿の中で、つくるべき中学校はつくる、つくるべき小学校はつくるという形でいきたいと思っています。今の子ども達が大事だから子ども達がいる限り、つくるべき学校はつくるという方針でいきたいと思っています。
委員	渥美 8 校区会長からも渥美地域で新設中学校 1 校を希望する意見があるように、保護者も渥美地域で新設中学校を希望している。自分達はこういう場に出ているので無理だという感触はつかんでいるが、中学校新設の可能性がゼロなら言ってほしい。
委員	新設中学校についての可能性がゼロならゼロと言ってくれれば、赤羽根中にしても福江中にしても移転先の中学校の方向性が見える。可能性があるなら新設中学校を希望する。

教育長	5年から10年の間で新設中学校をつくることはありません。しかし、福江中、泉中は築50年ぐらい経過している。10年後には、築60年になり建替対象になってきます。清田小、亀山小等もそうですが、10年後とか20年後の建替時期に集まって学校をつくった方がいいという意見は出てきます。そういう意味では新設中学校が出来る可能性はあるが、5年、10年で出来る可能性はないと思っています。
委員	文書等で一度言っていたらいいと思う。
委員	新設が建つと思っている人もいますので、新設は建てられないなら「建てられません」と言ってもらった方がいい。
委員	今後5年、10年ではありません、ただし何十年後かはわかりませんと言ってもらえればいい。
教育長	新設の伊良湖岬小学校のスタートも平成32年度、オリンピックの年です。今から計画してもそれぐらいの年月が必要になってきます。10年の長さを短いと見るか、長いと見るかなのです。そういう温度差がある中で、今後5年、10年では建てられません。
委員	ただ、保護者は自分たちの子どものことを考えているので、10年以上先なら、それほど強く思わない。
委員長	伊良湖岬小のスタートが平成32年度となると、伊良湖岬中の移転時期はその2年前の平成30年度となる。新設中学校をつくるのは無理ということですね。
委員	校区でアンケートを何回かとりました。その中では新設中学校前提ではないときは、赤羽根中という意見も多かった。アンケートで新設中学校という項目を入れると、新設中学校を支持する人が7、8割を占めていた。自分は統合準備委員会に出席しているので無理だと思っていたのですが、実際に会議に出ていない人は新設中学校を希望している。市としてある程度方向性を報告していただきたい。
教育長	次回発行の統合準備委員会だよりには、そういった内容を掲載したものとします。
委員	次回、渥美8校区の会議は、いつ開催されるのですか。
委員長	ある程度岬校区で方針が決まれば、月1回は校区長会議をやっていますので、そのときにも話ができます。
委員	岬校区で案が決まり渥美8校区に報告した場合、その意見がすんなり通りますか。
委員	昨年、「赤羽根に行く」話になったとき、福江の方々から「渥美8校区でまとまって新設中学校をつくるから待ってくれ」という話だったと思う。
委員長	一時は、新設ということで案がまとまりかけました。それから泉校区がアンケートをし直し、まとまらなくなってしまった。
委員	もし、泉校区は泉校区だけで残った場合、岬校区だけ福江中に行く可能性はありますか。泉と一緒にないとダメというわけではないですか。
教育長	岬校区だけ決まれば、岬校区だけ動くことは可能です。
委員	中学校の移転先は、福江中にしても、赤羽根中にしても可能ですか。
教育長	岬校区だけで移動することは可能です。
委員	泉校区は、1校の小規模校で現状のままですか。
教育長	泉校区にはこちらから働きかけます。

委員	どうしても泉は泉でいいと言われたら、このままですか。
教育長	そのままにしておくわけにはいかないので、教育委員会として泉校区にはとりあえず結論を出していただきとお願いしていくことにはなります。
委員長	泉とは切り離して、岬校区は自分たちのことを考えるということ。
教育長	議会でも、泉校区を切り離してやればいいのかという意見もありました。
委員長	ほかにどうでしょうか。 次に「8校区の検討状況を受けての岬小建設地の今後の考え方」ということで、新設の伊良湖岬小学校の建設場所、伊良湖岬中学校の統合先が示されています。 次回、今後の考え方について了承をもらえるかどうかとりまとめたいと思います。
委員長	次に、協議事項2 和地小学校施設見学会でのワークショップ開催について、説明をお願いします。
事務局	(説明)
委員	8月2日と8月25日の施設見学会には、和地小の保護者は対象ですか。
事務局	小学校を通じて連絡しています。
委員	和地小でも保護者に通知してアンケートをとっています。今のところ、和地小の参加者はかなり少ないと思います。
事務局	では、3校区に再度案内して参加を募ります。
委員	現状3校の保護者も、生徒も、先生も全部入れ、新しい学校をどういう学校にしたいかをやらないと意味がないと思う。
事務局	5年生の子どもは、阿南町の宿泊体験のときにワークショップをやりました。学校にも投げかけ、教職員も出られるように配慮したいと思います。
委員	生徒や地域の人が自分たちでつくった学校という思いが大切だから、そこまで思っ てやっていかないと意味がない。
事務局	子どもたちも全ての人も学校に対する思いが高まっていくようにやるということですね。PTAと一緒にやるか、学校でやるかは検討させてください。
委員	PTA、先生、生徒と一緒にやるのが理想ですが、事情があるし、みんな一緒に集まるのは無理だと思う。
事務局	それならできると思います。いろいろな方々に参加してもらい、学校に対する思いを高めることをやっていきたいと思います。教育委員会だけで学校をつくるわけではないので、先生たちの意見も十分に反映させてやっていきたいと思います。
委員	私が聞いている中では、学校見学会は和地小の校長先生が中心になって先生だけでやると聞いていました。それで、今、議論になっていることは何ですか。子どもを全員呼ぶのですか。
事務局	子どもは子どもでこの日程とは別に意見交換をし、先生は先生で意見交換をやる。皆さんが学校に対する思いを語る場を設定することが大切ではないかというご意見でした。
委員	結局、この日は、見学会ですか。PTAも参加ですか。
事務局	8月4日と25日のどちらかで保護者に参加を募り、和地小見学会と意見交換会を一緒

	に開催します。PTAではなく、保護者が対象です。
委員	見学会が1時半から15時までです。意見交換会の時間は。
事務局	説明を含め後半45分くらいです。
委員	いろいろな人から意見を聞くのはいいですが、この時期に話をすると、来年度和地小学校に行ったイメージと新設小学校が出来たイメージの2通りの考えが出てくると思う。「楽しい学校」、「みんな仲良くしたい学校」、「地域の特色ある学校」など考えやすい例をあげてアンケートをとるといい。
事務局	平成27年度和地小にてスタートする伊良湖岬小学校について意見交換する予定です。どうい学校運営をしてほしいか、どんな学校づくりをしてほしいか、子どもたちはどうい活動をしてほしいか、ということをお皆さんで意見交換したいと考えています。
委員	コーディネーターは市でされるのですか。
事務局	参加人数を把握後、グループわけをするのか、皆さん集まったところで意見交換するのか判断します。短時間で出来るだけ濃い話し合いにしたいと思います。
委員長	ほかにありますか。ないようですので、協議事項3 その他の閉校記念式典について、説明をお願いします。
事務局	(説明)
委員長	説明が終わりました。ご意見・ご質問がございましたらお願いします。
委員	理想は、運動会みたいなことをやった方がいいという意見を聞きましたが、現実的には時期が2月だと難しいかなと思っています。
事務局	閉校式典の内容については、学校、自治会、校区で考えていただきたいと思います。
委員	住民は来たい人が来ていいということですか。
事務局	学校と校区で決めてください。
委員長	地域の住民も母校がなくなると思うと参加したい人もいると思う。この件は、学校と校区で検討、協議して決定していただきたいと思います。 何かありますか。ほかにないようですので、協議事項3 その他、統合準備委員会の進捗状況について、説明をお願いします。
事務局	(説明)
委員長	説明が終わりました。ご意見・ご質問がございましたらお願いします。
委員	田原中が野田中に統合する際、心のケアはどうされるのですか。
事務局	伊良湖岬3小学校の統合のときにも、子どもの気持ちに配慮し今年度に交流事業を予定しています。野田中学校が田原中学校に統合していく際にも2年間の準備期間中に交流学習や部活動での合同練習等を計画し、子ども達がスムーズに田原中学校に移行できるように十分配慮していきます。
委員長	ほかにありませんか。ないようですので、本日の協議事項は、全て終わりました。次回の開催日程については、7月23日(水)午後7時から和地市民館で開催します。ご協力ありがとうございました。